

一般社団法人日本老年歯科医学会 2020年度第17回理事会 議事録（メール会議）

日時：2021年2月12日（金）～18日（木）

場所：メール会議

承認日：2021年2月18日

送付者：水口俊介 理事長、羽村 章、片倉 朗 両副理事長

上田貴之、松尾浩一郎、池邊一典、小野高裕、山崎 裕、小笠原 正、菊谷 武、戸原 玄
佐藤裕二、吉田光由、河相安彦、竹島 浩、大神浩一郎、石黒幸枝、柏崎晴彦、高橋一也
岩佐康行、平野浩彦、弘中祥司、米山武義、阪口英夫、服部佳功、糸田昌隆、菅 武雄
大野友久、會田英紀、渡邊 裕 各理事
森戸光彦、山根源之 各監事

（計 32 名）

場所：メール会議

I. 協議事項

1) デジタル媒体を活用した学会運営に関わる moodle の導入について

対面授業のサポートまた e ラーニングを行うための機能が揃っている学習管理システム(LMS)の moodle を導入し、非集合型事業およびペーパーレス運営の整備を行うことを承認した。

執行部より下記の補足説明がされた。

- ・現在所有していない会員専用ホームページの機能も本システムにより持たせる事業も含んでいる。
- ・下記事業を予定しているが一斉導入は難しいため、特に 4) 5) は継続審議となる。

- 1) 認定制度（認定医試験を含む）
- 2) 現在 Dropbox で行っている各種委員会の資料等の管理
- 3) 会員限定サイトとしての利用
- 4) 講演会等のウェビナー配信
- 5) 講演会等のオンデマンド配信

- ・システムの選定について

Moodle は、認定制度の推薦であるが、その後の検討により他のシステムも併せて検討を致した。その結果、どのシステムも一長一短であり、特定のシステムに優位性がないため、Moodle の使用経験のある役員が複数いることから導入に対する利用者の利便性が高いこと、オープンソースであり特定の企業の事業ではない為サービス終了等のリスクが低いこと、などから選定に至った。また、業者の選定においても同様に比較を行い、各社サービス内容が異なるため、費用だけの比較が困難であるため、実績等を鑑みてヒヤリングを行い、選定した。

- ・導入のタイミングと費用について

本年度の対予算での執行率が低く、繰り越し予定金額が非常に大きいため、まとまった投資をするのには本年度内が適切な時期であると判断した。また、来年度の実施のためには、本年度中の予算執行が必要である。

・コロナ禍の影響が導入のきっかけではあるが、その対応にとどまらず、委員会の人海戦術に頼っている部分をシステムに置き換え、学会のシステム自体の拡張を予定している。

2) 認定医更新認定

1名について、更新を承認とした。

以上